

臨床検査項目一覧

血液検査基準値

2021.4.1改訂

血球計数

略 称	日本語名	参考基準範囲	この検査で何がわかるの？
WBC	白血球数	男 3,600-9,000 / μ ℓ 女 3,000-7,800 / μ ℓ	白血球は血液の細胞成分のひとつで体内に炎症がある時や血液疾患の時に数値の変動がみられます。
RBC	赤血球数	男 387-525 万/ μ ℓ 女 353-466 万/ μ ℓ	赤血球は血液の細胞成分のひとつで酸素や炭酸ガスを運び、貧血の有無や程度を判断します。
HGB	血色素(ヘモグロビン)	男 12.6-16.5 g/dl 女 10.6-14.4 g/dl	赤血球の中にあり酸素を運び、貧血や多血症の診断など、全身状態が把握できます。
HCT	ヘマトクリット	男 37.4-48.6 % 女 32.1-42.7 %	血液中の赤血球容積の割合で、貧血の有無や程度を診断します。
MCV	平均赤血球容積	男 87.2-104.2 fl 女 83.3-100.3 fl	それぞれ平均赤血球1個あたりの容積、ヘモグロビン量、ヘモグロビン濃度をあらわします。赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値から計算し、貧血の種類がわかります。
MCH	平均赤血球血色素量	男 29.2-35.3 pg 女 27.4-33.8 pg	
MCHC	平均赤血球血色素濃度	男 32.0-35.0 % 女 31.8-34.7 %	
PLT	血小板数	13.8-30.9万/ μ ℓ	血液の細胞のひとつで、血液を固めて止血する働きがあり、出血傾向、血液凝固性疾患の診断に用います。

血液像

NEUT	好中球	40-69 (成人) %	白血球の一種で細菌から生体を守る作用をし、感染症、炎症等で増加します。
LYMPH	リンパ球	26-46 (成人) %	白血球の一種で異物から生体を守る作用をし、ウイルス感染症等で増加します。
MONO	単球	3-9 (成人) %	白血球の一種で体の中に侵入した病原体と戦う働きがあり、感染症、膠原病等で増加します。
EOSINO	好酸球	0-5 (成人) %	白血球の一種でアレルギーに関与し、喘息、寄生虫症、じんましん等で増加します。
BASO	好塩基球	0-2 (成人) %	白血球の一種でアレルギーに関与し、血液の病気の一部で増加します。
Ret	網状赤血球	0.2-2.30%	赤血球が作られているかどうかを調べることで貧血の種類がわかります。

血液凝固系検査

略 称	日本語名	参考基準範囲	この検査で何がわかるの？
PT活性度	プロトロンビン時間活性度	70-120 %	出血した時には、血液が固まり止血されます。これを血液凝固反応と呼び、この働きを調べるための検査です。手術前に検査し、血液凝固の反応段階や反応部分に異常があるかを調べます。また血液凝固反応を起こす物質は肝臓で作られるため肝臓の機能を調べる時にも検査します。PTIは血管内凝固(血栓)を予防する薬(ワーファリン)の治療効果もみえます。INRはどここの病院で検査しても同じ数値として判断できるように工夫された数値です。
PT INR	プロトロンビン時間INR	0.85-1.15	
APTT	活性化部分 トロンボプラスチン時間	24-39 秒	
フィブリノーゲン	フィブリノーゲン	200-400 mg/dl	血管内で血液凝固反応がおこった場合、それによってできた血栓を溶かす作用が働きます。その時に作り出された物質を測定する検査です。したがって増加した場合は血管内で凝固反応があったことがわかります。
FDP	血中フィブリン分解産物	5.0 μ g/ml 以下	
Dダイマー	血中フィブリン分解産物	1.0 μ g/ml 以下	
ATⅢ	アンチトロンビンⅢ	80-130%	活性低下で凝固亢進状態を反映します。

略 称	日本語名	参考基準範囲	この検査で何がわかるの？
CRP	C反応性蛋白	≤ 0.3 mg/dl	細菌感染をはじめ体内に炎症がないかがわかります。
TP	総蛋白	6.5-8.0 g/dl	血清(血液の中の液体成分)にふくまれている、いろいろなタンパクの総和です。栄養状態や脱水の有無、また大量に出血した時に体の状態をみるために測定します。
ALB	アルブミン	4.0-5.2 g/dl	TPの60%をしめる成分で、肝臓のはたらきや栄養状態を調べます。
T-Bil	総ビリルビン	0.2-1.2 mg/dl	血液中の色素が分解してできる成分で 肝臓の障害や黄疸の種類を区別するために測定します。
D-Bil	直接ビリルビン	0-0.3 mg/dl	
CHE	コリンエステラーゼ	168-470 U/L	肝臓のはたらき具合をみることができます。
AST(GOT)	アスパラギン酸トランスアミナーゼ	≤ 30 U/L	肝臓の状態が敏感に反映され肝機能検査の代表とされています。ASTは心臓の病気の場合にも高くなります。
ALT(GPT)	アラニントランスアミナーゼ	≤ 30 U/L	
ALP _IFCC	アルカリホスファターゼ	38-113 U/L	肝臓の障害や胆管のつまりの有無をみます。また成長期や骨折後の回復期には高くなります。
γ-GTP	ガンマ・グルタミル トランスぺプチターゼ	≤ 50 U/L	タンパクを分解する酵素で肝臓、腎臓、膵臓などの組織にあり、おもに肝臓の障害の程度がわかります。γ-GTPはアルコール分によく反応しますので飲酒習慣との関連がわかります。
LAP	ロイシンアミノペプチターゼ	30-80 U/L	
LD _IFCC	乳酸脱水素酵素	119-229 U/L	急性肝炎、肝硬変、心筋梗塞、悪性貧血、白血病や癌などさまざまな疾患の状態を他の検査と合わせてみます。
CK(CPK)	クレアチンキナーゼ	男 60-287 U/L 女 45-163 U/L	心筋、骨格筋、脳の中に含まれる酵素で細胞の損傷で血液中にでてきます。心筋梗塞の時にその障害の程度がわかります。また運動後など筋肉が疲労したときにも高くなります。
CK-MB	CKアイソザイムMB	≤ 25 U/L	CKのうち心筋に由来するもので、心筋梗塞などのときに心臓の障害の程度がわかります。
AMY	アミラーゼ	43-116 U/L	膵臓や唾液腺の炎症がわかります。
Fe	鉄	43-181 μg/dl	血清(血液の中の液体成分)の中にある鉄のことです。TIBCは鉄と結合して運搬するタンパク量を足した総和です。
TIBC	総鉄結合能	231-398 μg/dl	
BUN(UN)	尿素窒素	7-24 mg/dl	BUNはタンパクの燃えカスであり、CREは筋肉のエネルギー源として使われた物質のカスで共にからだの老廃物です。これらの老廃物を尿に流す腎臓の排泄機能がわかります。
CRE	クレアチニン	男 ≤ 1.00 mg/dl 女 ≤ 0.70 mg/dl	
UA	尿酸	男 4.0-7.0 mg/dl 女 3.5-7.0 mg/dl	痛風の指標として重要な項目です。
Na	ナトリウム	135-147 mmol/L	むくみ、脱水(下痢、嘔吐など)の時の体の中の水分のバランスをあらわします。(Kの高い時は不整脈や心不全に対する注意が必要です。)
K	カリウム	3.3-4.8 mmol/L	
Cl	クロール	98-108 mmol/L	
Ca	カルシウム	8.6-10.4 mg/dl	Caの99%は骨にありますが血液中のわずかなCaは筋肉の収縮、血液凝固、神経が刺激を伝える時に重要な働きをしています。これらを調節する副甲状腺や骨の病気などがわかります。
T-Cho	総コレステロール	130-219 mg/dl	生活習慣病の予防や治療を目的として測定します。値が高くなると動脈硬化の危険性が高くなります。
TG	中性脂肪	50-149 mg/dl	
HDL-C	HDLコレステロール	男 40-75 mg/dl 女 40-87 mg/dl	血管に貯まったコレステロールを取り除く善玉コレステロールです。低いと動脈硬化を起しやすくなります。
LDL-C	LDLコレステロール	70-139 mg/dl	悪玉コレステロールです。高いと動脈硬化を起す危険性が高くなります。

糖尿病関連検査

略 称	日本語名	参考基準範囲	この検査で何がわかるの？
GLU	血 糖	(空腹時) 78 - 109 mg/dl	血液の中にあるブドウ糖をいいます。糖尿病のコントロールと診断に重要です。
HbA1c	ヘモグロビンA _{1c}	4.6 - 6.2 %	血液中のヘモグロビンの仲間で時間をかけてブドウ糖と結合します。赤血球の寿命(120日)と同じだけ血液中にあるため糖尿病患者の1~2か月前の血糖コントロールの良し悪しを表します。
IRI	インスリン	5-20 μU/ml	血糖の調整を司るホルモンで血糖値を下げる働きがあります。分泌や働きが悪くなると血糖値があがり糖尿病になります。
CPR	Cペプチド	1.0-2.0 ng/ml	インスリンの前段階の物質で膵臓でインスリンとCPRに分離されて血液中に出てきます。インスリンの量や分泌機能を推測できます。

免疫検査基準値

2021.4.1改訂

腫瘍マーカー検査

略 称	日本語名	参考基準範囲	この検査で何がわかるの？
AFP	アルファフェトプロテイン	< 20.0 ng/ml	肝細胞癌の診断や経過観察のためのマーカーです。
CEA	癌胎児性蛋白	< 5.0 ng/ml	腫瘍全般の診断や癌の外科手術後の経過や再発のモニターとして用います。
PSA	前立腺特異抗原	< 4.0 ng/ml	前立腺癌の診断や経過観察をします。
CA19-9	糖鎖抗原CA19-9	< 37.0 U/ml	膵臓癌や胆道系の癌の診断や経過観察に用います。
CA15-3	CA15-3	< 28.0 U/ml	乳癌の腫瘍マーカーですが、卵巣癌の予後を見るためにも測定します。
CA125	CA-125	< 35.0 U/ml	卵巣癌の腫瘍マーカーです。
SCC	扁平上皮癌関連抗原	< 1.5 ng/ml	扁平上皮癌に対して陽性を示す率が高く、子宮頸管部や肺の扁平上皮癌を診断する指標として用いられます。

甲状腺ホルモン検査

略 称	日本語名	参考基準範囲	この検査で何がわかるの？
FT3	遊離トリヨードサイロニン	1.88-3.18 pg/ml	バセドウ氏病や橋本病の診断や治療の効果をみるために測定します。FT3、FT4は蛋白と結合していない甲状腺ホルモンです。TSHは下垂体から分泌されるホルモンで甲状腺ホルモンの分泌を刺激します。
FT4	遊離サイロキシン	0.70-1.48 ng/dl	
TSH	甲状腺刺激ホルモン	0.36-3.67 μIU/ml	

感染症検査

略 称	日本語名	参考基準範囲	この検査で何がわかるの？
HBs-Ag	B型肝炎ウイルス抗原	(-)	B型肝炎ウイルスに感染したことがあるか、感染しているか、感染していればどのような状態にあるかがわかります。
HCV-Ab	C型肝炎ウイルス抗体	(-)	C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを調べる検査でC型急性肝炎や慢性肝疾患の診断に用います。
HIV-Ab	HIVウイルス抗体	(-)	HIVウイルスに感染しているかをスクリーニングする検査です。
TPPA	トレポネーマパリダム抗体	(-)	梅毒に感染した時に産生される抗体の有無を調べる検査です。
RPR定性	RPRカードテスト	(-)	